

令和2年度版



白馬村キャラクター  
ヴィクトワール・シュヴァルブラン・村男Ⅲ

# 新型コロナウイルス 感染症対応地方 創生臨時交付金

そもそもなあに？どのくらい？	・・・1
なにに使われている？	・・・2
希望は？	・・・3
実績報告は？	・・・4
実施計画は？	・・・5～8
具体的な事業は？	・・・9～29

そもそも「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」ってなあに？



白馬村キャラクター  
ヴィクトワール・シュヴァルブラン・村男Ⅲ世

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止とともに、感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活を支援し地方創生を図るため、地方公共団体が地域の実情に応じて、きめ細やかに必要な事業を実施できるよう創設された交付金だよ。



白馬村へはどのくらい交付されているの？



白馬村キャラクター  
ヴィクトワール・シュヴァルブラン・村男Ⅲ世



全部合わせると、2億9,308万5千円だよ。



【合計】	2億9,308万5千円
第一次交付額	6,866万9千円
第二次交付額	2億1,079万5千円
第三次交付額	1,362万1千円

なにに使われているのかな？



白馬村キャラクター  
ヴィクトワール・シュヴァルブラン・村男Ⅲ世

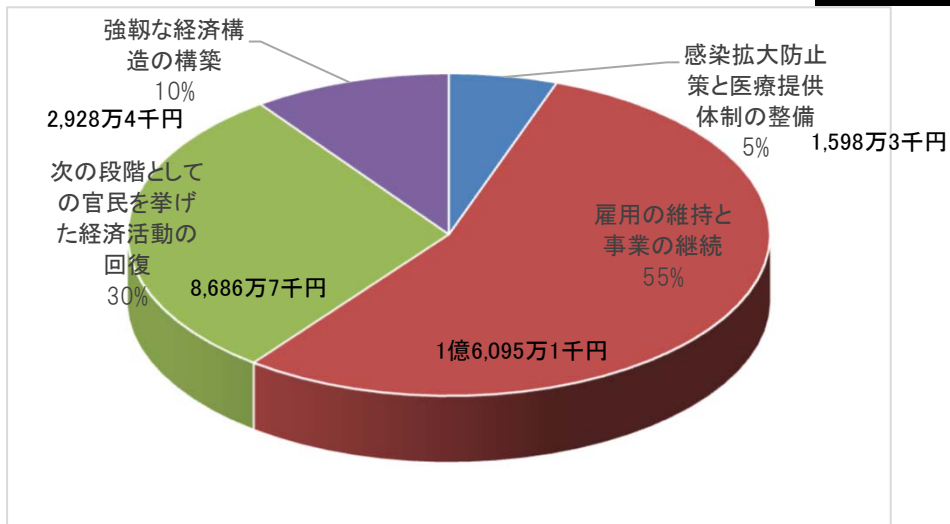
感染拡大防止とか雇用の維持とかいろいろなこと  
に使われているよ。



事業の種別	事業数	総事業費	交付金充当額
感染拡大防止策と医療提供体制の整備	11	2,024万6,714円	1,598万3千円
雇用の維持と事業の継続	6	1億6,095万2,468円	1億6,095万1千円
次の段階としての官民を挙げた経済活動の回復	6	1億6,232万3,193円	8,686万7千円
強靱な経済構造の構築	10	3,881万3,848円	2,928万4千円
合計	33	3億8,233万6,223円	2億9,308万5千円



【交付金充当額と割合】



## みんなの希望はどうだったの？



白馬村キャラクター  
ヴィクトワール・シュヴァルプラン・村男Ⅲ世

アンケートを実施して住民から広く意見を聞いたよ。令和2・3年度交付金事業や交付金未充当のコロナ対策まで幅広くアンケートの対象にしたんだよ。

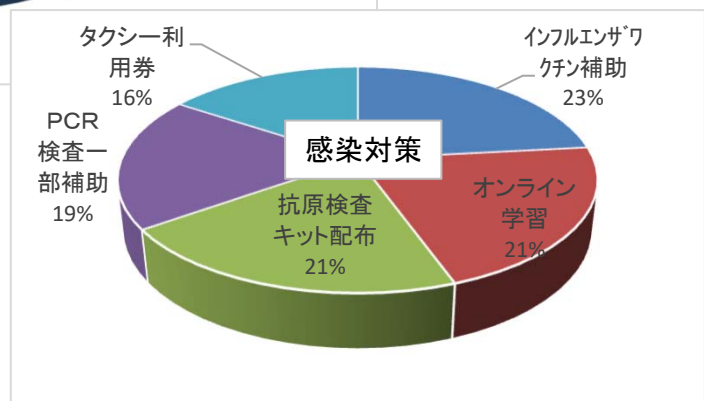
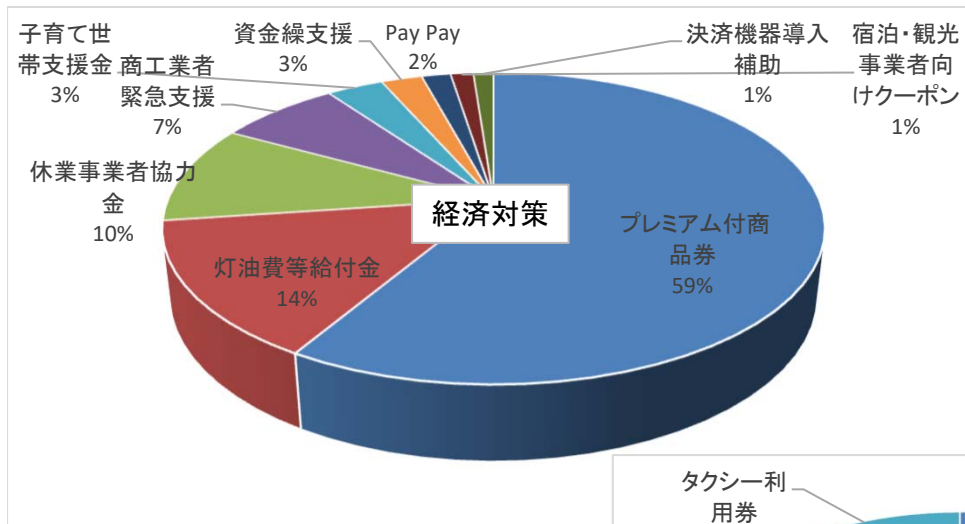


### 【新型コロナウイルス感染症対策に関するアンケート】

令和4年1月～3月 実施

配布数：3,824人

『経済対策で役立った事業』			『感染症対策で役立った事業』		
	事業名	人数		事業名	人数
1位	プレミアム付商品券	1,592	1位	インフルエンザワクチン補助	576
2位	灯油費等給付金	388	2位	オンライン学習	524
3位	休業事業者協力金	277	3位	抗原検査キット配布	511
4位	商工業者緊急支援	193	4位	PCR検査一部補助	474
5位	子育て世帯支援金	90	5位	タクシー利用券	388
6位	資金繰支援	65	合計		2,473
7位	Pay Pay (交付金未充当)	46			
8位	宿泊・観光事業者向けクーポン	36			
9位	決済機器導入補助	32			
合計		2,719			



(様式Ⅱ)

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実績報告

都道府県名	長野県	市町村名	白馬村	自治体コード	20485
-------	-----	------	-----	--------	-------

これが県に提出した実績報告書だよ...



交付決定額	既交付額	精算払請求額	不用額
293,085,000	279,464,000	13,621,000	0

(円)

No	事業名	総事業費 (A)	補助対象事業費 (B) = (C) + (D) + (E) + (F)				補助対象 外経費 (A) - (B)	事業開始 年月日	事業完了 年月日	備考
			国庫補助額 (C)	交付金充当 経費(D)	起債額 (E)	その他 (F)				
1	県・市町村連携新型コロナウイルス拡大防止協力企業	65,900,000	65,900,000		65,900,000		0	R2.4.30	R2.10.16	
2	商工業者向け事業継続緊急支援事業	28,833,938	28,833,938		28,833,000		938	R2.5.12	R2.7.10	
3	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う子育て支援金	16,364,000	16,364,000		16,364,000		0	R2.5.12	R2.11.10	
4	公立学校臨時休業に伴うオンライン学習推進事業	792,000	792,000		792,000		0	R2.4.13	R2.4.17	
5	公立学校臨時休業に伴うオンライン学習推進事業	317,460	317,460		317,000		460	R2.4.1	R3.1.4	
6	公立学校臨時休業に伴うオンライン学習推進事業	1,070,520	1,070,520		1,070,000		520	R2.4.1	R2.5.29	
7	商工業者向け事業継続緊急支援事業	17,651,160	17,651,160		17,651,000		160	R2.7.1	R2.9.30	
8	白馬村小谷村地域支えあいプレミアム付商品券事業	98,323,193	98,323,193		22,867,000		75,456,193	R2.7.1	R3.3.12	
9	公立学校情報機器整備費補助金	0	0	0	0		0			
10	公立学校情報機器整備費補助金(単独分)	744,000	744,000		744,000		0	R2.8.3	R3.2.28	
11	公立学校情報機器整備費補助金	105,000	105,000	52,000	53,000		0	R2.8.3	R3.3.1	
12	公立学校情報機器整備費補助金(単独分)	88,878	88,878		88,000		878	R2.8.3	R3.3.1	
13	公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金	18,950,000	18,950,000	9,475,000	9,475,000		0	R2.8.3	R3.3.30	
14	公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金	300,000	300,000		300,000		0	R2.8.3	R3.3.30	
15	公立学校情報機器整備費補助金(単独分)	12,621,400	12,621,400		12,621,000		400	R2.8.3	R3.1.29	
16	避難所における新型コロナウイルス感染症防止対策物品	2,629,000	2,629,000		2,629,000		0	R2.9.23	R3.3.31	
17	常備消防における新型コロナウイルス感染症防止対策	241,000	241,000		241,000		0	R2.9.1	R2.10.5	
18	LGWAN接続系テレワーク推進事業	3,824,590	3,824,590		3,824,000		590	R2.12.14	R3.3.31	
19	県立白馬高校学生寮新型コロナウイルス感染症防止対策インフルエンザワクチン予防接種補助事業	5,212,528	5,212,528		4,351,000		861,528	R2.4.2	R3.3.5	
20	感染症予防対策事業	1,678,000	1,678,000		1,678,000		0	R2.10.1	R3.3.31	
21	感染症予防対策事業	1,738,110	1,738,110		1,738,000		110	R2.4.1	R3.3.31	
22	感染症予防対策事業	638,000	638,000		638,000		0	R2.10.1	R3.3.22	
23	地域介護予防活動推進事業	174,117	174,117		174,000		117	R2.8.5	R3.3.5	
24	乗合タクシー運行事業	1,110,000	1,110,000		1,110,000		0	R2.8.5	R3.3.31	
25	山岳関係者向け感染症対策推進及び事業継続支援(再発)宿泊事業者向け地域内観光需要喚起事業	2,500,000	2,500,000		2,500,000		0	R2.8.5	R2.11.20	
26	観光事業者向け地域内観光需要喚起事業	35,000,000	35,000,000		35,000,000		0	R2.8.5	R3.1.20	
27	観光事業者向け地域内観光需要喚起事業	5,000,000	5,000,000		5,000,000		0	R2.8.5	R2.10.30	
28	新しい生活様式に対応した泊食分離形態推進支援事業	500,000	500,000		500,000		0	R2.8.5	R3.3.31	
29	新型コロナウイルス感染症対策融資利子補給事業	30,000,000	30,000,000		30,000,000		0	R2.8.5	R3.3.31	
30	高齢者移動支援事業	2,203,370	2,203,370		2,203,000		370	R2.8.21	R3.2.28	
31	学校保健特別対策事業費補助金	3,521,009	3,521,009	1,750,000	1,771,000		9	R2.4.15	R3.3.3	
32	新たな観光需要喚起支援事業	21,000,000	21,000,000		21,000,000		0	R2.12.2	R3.3.31	
33	感染症予防対策事業	825,000	825,000		825,000		0	R3.2.5	R3.2.5	
34	介護施設PCR検査補助事業	2,479,950	2,479,950		828,000		1,651,950	R3.1.20	R3.3.31	
合計		382,336,223	382,336,223	11,277,000	293,085,000	0	77,974,223			

- 注) 1. 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施計画に計上している事業のうち、交付金充当事業について記載すること。  
 2. 交付金充当事業については、事業の実施を証する書類(契約書の写し等)及び事業の完了を証する書類(請求書、領収書の写し等)を各団体において保管すること。  
 3. 「No」の欄、「事業名」の欄は、それぞれ新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施計画から「No」の欄、「交付対象事業の名称」の欄を転記すること。  
 4. 「交付金充当経費」の合計欄の額は、「既交付額」の欄と「精算払請求額」の欄の合計と等しくなるようにすること。

★令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施計画

(単位:千円)

※行の挿入・削除、セルの結合は絶対に行わないこと。

都道府県名		長野県		電話番号	0261-72-5000		第一次配分額	68,669		第一次交付限度額	68,669																					
地方公共団体名		白馬村		メールアドレス	somu@vill.hakuba.lg.jp		第二次配分額	210,795		第二次交付限度額	210,795																					
都道府県・市町村コード(5桁)		20485		交付対象経費	293,789		第三次配分予定額 (本省繰越希望額を除く)	13,621		第三次交付限度額(地方単独分)	105,603																					
担当部署課名				国庫補助事業費	11,988		本省繰越予定額	102,564		第三次交付限度額(補助裏分)	10,582																					
担当者氏名				地方単独事業費	281,801		配分予定額計	293,085		第三次交付限度額のうち 本省繰越希望額 (第三次地方単分+法定単事業分以内)	319																					
				移替先	総務省		交付限度額計	395,649																								
No.	補認済み事業	補助・単独	事例集事例番号	交付対象事業の名称	所管	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	①休業要請協力金	②事業者への給付金	③事業者への家賃支援	特定事業者等支援	個人を対象とした給付金等	基金	経済対策との関係	交付対象事業の区分 (地域未来構想20との該当関係)	事業初期	事業終期	総事業費	A						参考資料	備考① (地方単独事業に関連している国庫補助その国庫補助事業名と所管省庁名)	備考② (事業の終期が令和3年3月を超えることが見込まれる場合、その事情)	予算区分					
																		補助対象事業費	C	D	E	F	G									
合計																	355,404	23,975	11,987	293,789	-	49,628	-									
1		単		県・市町村連携新型コロナウイルス拡大防止協力企業等特別支援事業		①②長野県と市町村が連携して実施する、休業要請に応じた事業所に対する協力金等給付事業への市町村協力金(1事業所当たり県20万円・市町村10万円の計30万円を給付) ③659事業所×10万円(市町村協力金分) ④長野県(事業者へは県から給付)	○	○	-	-	-	-	-	II-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	⑦いずれも該当しない	R2.4	R2.7	65,900			65,900	-	-							R2補正(地)		
2		単		農工商業者向け事業継続緊急支援事業		①厳しい経営環境を強いられている村内農工商業者を緊急的に支援するため白馬商工会に対し、事業継続緊急支援交付金を交付 ②対象者1人につき5万円、事務費633千円(通信費109千円、消耗品費5千円、振込手数料67千円、委託料432千円) ④白馬商工会	-	○	-	-	-	-	-	II-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	⑦いずれも該当しない	R2.5	R2.6	28,833			28,833	-	-							R2補正(地)		
3		単	106	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う子育て支援金給付事業		①コロナウイルスの影響を受けている子育て世帯の生活を支援するため、子育て世帯に対し、支援金(一時金)を支給する。 ②対象者1人につき1万円。対象者がいるひとり親世帯には、2万円を加算 ③実績 支給決定者936人 合計16,340千円 1,428人×1万=14,280千円 103人×2万=2,060千円 郵便代 84円×280通 120円×4通 合計24千円 ④大学生等(0歳~24歳)までの子供がいる保護者	-	-	-	-	-	-	II-4. 生活に困っている世帯や個人への支援	⑦いずれも該当しない	R2.5	R2.10	16,364			16,364	-	-							R2補正(地)			
4		○単	103	公立学校臨時休業に伴うオンライン学習推進事業		①②村立中学校で実施する臨時休業期間中にオンライン学習で使用する端末機器の家庭利用設定費用 ③(③3,000×240台×消費税10%(生徒・教員用)) ④村立中学校	-	-	-	-	-	-	-	IV-3. リモート化等によるデジタルトランスフォーメーションの加速	⑨教育	R2.4	R3.3	792			792	-	-							R2補正(地)		
5		○単	103	公立学校臨時休業に伴うオンライン学習推進事業		①②村立中学校で実施する臨時休業期間中にオンライン学習で使用するアプリケーション使用料 ③(Zoom Pro @2,000×13人×11月(教員)×消費税10%) ④村立中学校	-	-	-	-	-	-	-	IV-3. リモート化等によるデジタルトランスフォーメーションの加速	⑨教育	R2.4	R3.3	315			315	-	-							R2補正(地)		
6		○単	103	公立学校臨時休業に伴うオンライン学習推進事業		①②村立小学校で実施する臨時休業期間中に家庭学習で利用するアプリケーション(eライブラリ ドリル学習ソフト)の使用料 ③1校264,000円×2校 ④村立小学校	-	-	-	-	-	-	-	IV-3. リモート化等によるデジタルトランスフォーメーションの加速	⑨教育	R2.4	R3.3	528			528	-	-							R2補正(地)		
7		単		農工商業者向け事業継続緊急支援事業(第二次分)		①②厳しい経営環境を強いられている村内農工商業者を緊急的に支援するため白馬商工会に対し、事業継続緊急支援交付金を交付 ③342事業者×5万円、事務費551千円(振込手数料61千円、委託料490千円) ④白馬商工会	-	○	-	-	-	-	-	II-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	⑦いずれも該当しない	R2.7	R2.8	17,651			17,651	-	-							R2補正(地)		
8		単		白馬村・小谷村地域支えあいプレミアム付商品券事業		①プレミアム付商品券により域内消費を喚起し、これにより事業者を支援 ②額面1万円の商品券を5千円で販売、その差額(プレミアム相当額)及び事業実施に要する事務費 ③プレミアム相当額 5千円×13,535枚=67,675千円 事務費6,767千円(印刷費2,669千円、広告宣伝費293千円、通信費49千円、消耗品費101千円、換金手数料等3,655千円) (県補助金49,628千円充当) ④6月末日時点において住民基本台帳に登録がある世帯	-	-	-	-	-	-	-	III-2. 地域経済の活性化	⑩商品券・旅行券	R2.7	R3.3	74,442			24,814	-	49,628							R2補正(地)		

これが県に提出した実績計画書だよ。計画段階だから...  
実績とは金額が合っていない事業もあるよ...





No.	確認済み事業	補助・単独	事例係事例番号	交付対象事業の名称	所管	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	①休業要請協力金	②事業者への給付金	③事業者への家賃支援	特定事業者等支援	個人を対象とした給付金等	基金	経済対策との関係	交付対象事業の区分(地域未来構想20との該当関係)	事業初期	事業終期	A						参考資料	備考①(地方単独事業に関連している国庫補助事業がある場合、その国庫補助事業名と所管省庁名)	備考②(事業の終期が令和3年3月を超えることが見込まれる場合、その事情)	予算区分				
																	総事業費	B									補助対象外経費			
																		補助対象事業費	国庫補助額	C	D	E						F	G	
9		補	103	公立学校情報機器整備費補助金	文科	(GIGAスクールサポーター配置支援事業) ①GIGAスクール構想に従い、学校のICT化を強化 ②児童用タブレット整備に伴う導入支援に係る経費 ③必要額 710千円 内訳: 内訳: 内訳: 内訳: ④公立小中学校	-	-	-	-	-	-	-	IV-3. リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速	⑨教育	R2.8	R3.3	1,420	1,420	710	710	-	-	-				R2補正(国)		
10		単	103	公立学校情報機器整備費補助金(単独分)		①GIGAスクール構想に従い、学校のICT化を強化 ②児童用タブレット整備に伴う導入支援に係る経費 ③必要額 3千円 内訳: 内訳: 内訳: 内訳: ④公立小中学校	-	-	-	-	-	-	-	IV-3. リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速	⑨教育	R2.8	R3.3	3			3	-	-	-		公立学校情報機器整備費補助金(文部科学省)			R2補正(地)	
11		補	103	公立学校情報機器整備費補助金	文科	(学校からの遠隔学習機能の強化事業) ①教育の継続のために家庭学習環境を整備 ②遠隔学習強化のための接続装置整備に係る経費 ③必要額53千円 内訳: ・カメラマイク等整備費110千円のうち国からの補助52千円を除く村負担分58千円のうち補助事業分53千円 ④公立小中学校	-	-	-	-	-	-	-	IV-3. リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速	⑨教育	R2.8	R3.3	105	105	52	53	-	-	-				R2補正(国)		
12		単	103	公立学校情報機器整備費補助金(単独分)		①教育の継続のために家庭学習環境を整備 ②遠隔学習強化のための接続装置整備に係る経費 ③必要額5千円 内訳: ・カメラマイク等整備費110千円のうち村負担58千円から補助事業分53千円を除いた単独分5千円 ④公立小中学校	-	-	-	-	-	-	-	IV-3. リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速	⑨教育	R2.8	R3.3	5			5	-	-	-		公立学校情報機器整備費補助金(文部科学省)			R2補正(地)	
13		補	103	公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金	文科	①GIGAスクール構想に従い、学校の通信環境を強化 ②児童用タブレット端末整備に伴う学校施設の通信施設整備に係る経費 ③必要額 75千円 内訳: ・国庫補助事業費18,950千円のうち、国からの補助及び補助分起債借入額を除く村負担 75千円 補助対象事業費 18,950千円 南小 8学級×補助単価166千円=6,128千円① 北小 15学級×補助単価472千円=7,080千円② 保管キャビネット 23台×補助単価250千円=5,750千円③ ①+②+③=18,950千円 国庫補助金 9,475千円(1/2) 起債借入額9,400千円(補助残充当10割) 補助対象事業費-国庫補助-起債借入額=村負担75千円	-	-	-	-	-	-	-	-	IV-3. リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速	⑨教育	R2.8	R3.3	18,950	18,950	9,475	9,475	-	-	-				R2補正(国)	
14		単	103	公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金(単独分)		①GIGAスクール構想に従い、学校の通信環境を強化 ②児童用タブレット端末整備に伴う学校施設の通信施設整備に係る経費 ③必要額 740千円 内訳: ・国庫補助事業の総し単独事業費分 740千円 総事業費19,690千円 南小 8学級 工事費 7,612千円 北小 15学級 工事費 12,078千円 総事業費19,690千円-補助対象事業費18,950千円=740千円 ④公立小学校	-	-	-	-	-	-	-	IV-3. リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速	⑨教育	R2.8	R3.3	740			740	-	-	-		公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金			R2補正(地)	
15		単	103	公立学校情報機器整備費補助金(単独分)		①GIGAスクール構想に従い未整備の児童用タブレットを整備 ②児童用タブレット端末の1人1台整備に係る経費 ③必要額12,619,000円 内訳: ・「3人に1台分(地方単独事業)のうち未整備分単価53,945円×台数186台(児童136教師50)=10,033,770円 ・総事業費から「3人に2台分」(国費事業)と村単独事業分を除いた額(国庫補助事業への単独上乗せ分)事業費25,623,400円-国庫補助13,005,000円-単独整備費10,033,770円=2,584,630円 ④公立小学校	-	-	-	-	-	-	-	-	IV-3. リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速	⑨教育	R2.8	R3.3	12,618			12,618	-	-	-		公立学校情報機器整備費補助金(文部科学省)			R2補正(地)
16		単	36	避難所における新型コロナウイルス感染症対策物品収納防炎倉庫設置事業		①避難所の3密対策物品を収納する倉庫を設置することにより有事に備える。 ②倉庫設置費用 ③倉庫1棟2,365,000円 ④-	-	-	-	-	-	-	-	I-1. マスク、消毒液等の確保	⑩いずれも該当しない	R2.9	R2.10	2,365			2,365	-	-	-				R2補正(地)		

No.	確認済み事業	補助・単独	事例集事例番号	交付対象事業の名称	所管	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	①休業要請協力金	②事業者への給付金	③事業者への家賃支援	特定事業者等支援	個人を対象とした給付金等	基金	経済対策との関係	交付対象事業の区分 (地域未来構想20との該当関係)	事業初期	事業終期	A						参考資料	備考① (地方単独事業に関連している国庫補助事業がある場合、その国庫補助事業名と所管省庁名)	備考② (事業の終期が令和3年3月を超えることが見込まれる場合、その事情)	予算区分	
																	総事業費	B									補助対象外経費
																		補助対象事業費	C 国庫補助額	D 交付対象経費	E 起償予定額	F その他					
17	○	単		常備消防における新型コロナウイルス感染防止対策		①常備消防における新型コロナウイルス感染防止対策 ②北アルプス広域連合に繰り出し、感染防止衣やマスク等の購入に要する費用を交付対象経費とする ③負担金241,000円(1,461千円×16.5%基準財政需要割額により算出) ④北アルプス広域連合	-	-	-	-	-	-	I-1. マスク・消毒液等の確保	①いずれも該当しない	R2.9	R2.10	241			241	-	-				R2補正(地)	
18		単		LGWAN接続系テレワーク推進事業		①②コロナウイルス感染症を受け、今後行政においてもテレワークができる環境づくりを確立する。 ③3,901千円 ・端末購入費3,298,790円(26台) ・環境構築費385,000円+143,000円+55,000円(26台端末設定) ・モバイル接続サービス19,500円(1ヶ月×1,500円×13台) ④白馬村役場	-	-	-	-	-	-	IV-3. リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速	④行政IT化	R3.3	R3.3	3,901			3,901	-	-				R2補正(地)	
19		単	12	県立白馬高校学生寮新型コロナウイルス感染防止対策事業		①白馬・小谷両村で運営している白馬高校学生寮における感染症拡大防止対策 ②i)室内仕切りカーテン等設置。 ii)スタッフ用防護服等購入 iii)入学生居室対応のための施設借上げ(宿泊代) 白馬山麓事務組合に負担金として繰り出し、上記i～iiiに要する費用を交付対象経費とする。 ③必要額6,033,000円+0.67(白馬村負担分)=4,042,110円 i)女子寮819,000円 男子寮436,000円 計1,255,000円 ii)防護服200着143,000円 防護メガネ20ヶ44,000円 シューズカバー100足17,000円 マスク6000枚351,000円 消毒液関係278,000円 その他消耗品763,000円 計1,596,000円 iii)宿泊代 @6,616×延481泊=3,182,000円 i)+ii)+iii)=6,033,000円 ④白馬山麓事務組合	-	-	-	-	-	-	I-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	①いずれも該当しない	R2.4	R3.1	4,042			4,042	-	-				R2補正(地)	
20		単		インフルエンザワクチン予防接種補助事業		①インフルエンザ予防接種率を高め、罹患・重症者を減らし、感染リスクの高い検体を採取を行う機会を減らすことでコロナ感染者に備え医療機関の負担を軽減する ②接種費用の補助 ③他に補助のない者1,800人×1,000円×1回 ④接種日に村内に住所を有する令和元年10月1日から令和2年6月30日の間に生まれた乳児、高校1年生到達年度生まれから65歳未満の者	-	-	-	-	-	-	I-3. 医療提供体制の強化	①いずれも該当しない	R2.10	R3.1	1,800			1,800	-	-				R2補正(地)	
21		単	38	感染症予防対策事業		①②感染症予防対策を実施するための衛生材料等の購入費用 ③マスク:2万枚×28円、アルコール300本×3,278円、キッチンペーパー220円×30個×5箱、アクリル板12ヶ×22,000円 ④一般村民(役場来庁者、村主催事業参加者等)	-	-	-	-	-	-	I-1. マスク・消毒液等の確保	①いずれも該当しない	R2.4	R3.3	1,840			1,840	-	-				R2補正(地)	
22		単	12	感染症予防対策事業		①②災害・感染症発生時に、感染症の疑いのある住民と接触する役場職員の予防対策ウェアの購入 ③10人×63,800円 ④感染症対策に関わる役場職員	-	-	-	-	-	-	I-1. マスク・消毒液等の確保	①いずれも該当しない	R2.7	R3.3	638			638	-	-				R2補正(地)	
23		単	38	地域介護予防活動推進事業		①②コロナ禍でも、地域で通いの場として体操や歌など住民主体の活動を行っている団体に対し、その活動を維持するため、消毒薬等の購入など感染症対策に係る費用を助成する。 ③上限10000円×18団体=6000円(上限に達しない団体あり) ④白馬村社会福祉協議会	-	-	-	-	-	-	I-1. マスク・消毒液等の確保	①いずれも該当しない	R2.4	R3.3	174			174	-	-				R2補正(地)	
24	○	単	24	乗合タクシー運行事業		①②運行を委託しているデマンドタクシーの感染症対策に係る飛沫防止シートの設置等に係る費用の助成 ③150千円×3事業所=450千円、22台×30千円=660千円 ④村内タクシー事業者	-	-	-	-	-	-	I-1. マスク・消毒液等の確保	①いずれも該当しない	R2.8	R3.3	1,110			1,110	-	-				R2補正(地)	
25	○	単		山岳関係者向け感染症対策推進及び事業継続支援事業		①感染症対策を含め厳しい経営環境を強いられている山小屋運営事業者及び山案内人を支援するため、感染症対策と事業継続を支援するための支援金を交付 ②③山小屋運営事業者 3事業者×500千円=1,500千円 山案内人組合 1,000千円 ④山小屋運営事業者 白馬村振興公社、白馬館、唐松山荘 白馬山案内人組合	-	○	-	○	-	-	III-1. 観光・運輸業、飲食業・イベント・エンターテインメント事業等に対する支援	①いずれも該当しない	R2.8	R2.10	2,500			2,500	-	-				R2補正(地)	



No.	確認済み事業	補助・単独	事例集事例番号	交付対象事業の名称	所管	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	①休業要請協力金	②事業者への給付金	③事業者への家賃支援	特定事業者等支援	個人を対象とした給付金等	基金	経済対策との関係	交付対象事業の区分(地域未来構想20との該当関係)	事業初期	事業終期	A						参考資料	備考① (地方単独事業に関連している国庫補助事業がある場合、その国庫補助事業名と所管省庁名)	備考② (事業の終期が令和3年3月を超えることが見込まれる場合、その事情)	予算区分	
																	総事業費	B									補助対象外経費
																		補助対象事業費	C 国庫補助額	D 交付対象経費	E 起債予定額	F その他					
26	○	単		宿泊事業者向け地域内観光需要喚起事業		①冬の外国人観光客の大幅な落ち込みが予想される中、20-21冬シーズンを含んだキャンペーンを実施、国内旅行の取り込みにより域内宿泊事業者を支援 ②5,000円分の宿泊クーポン発行費用 ③9月～10月分 5千円×2,000泊=10,000千円 12月～3月分 5千円×4,000泊=20,000千円 事務費(印刷費、手数料等) 5,000千円 ④白馬村観光局	-	-	-	-	-	-	Ⅲ-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援	⑯商品券・旅行券	R2.8	R3.3	35,000			35,000	-	-				R2補正(地)	
27	○	単		観光事業者向け地域内観光需要喚起事業		①宿泊事業者を除く観光事業者(アクティビティ、お土産、商店、飲食店、交通事業者等)向けの割引クーポンを発行、需要喚起により事業者を支援 ②3,000円クーポンの発行費用 ③クーポン原資 3千円×3,200枚=9,600千円、事務費(印刷費、手数料等)400千円 合計10,000千円×1/2=5,000千円(白馬村負担分) ※残額(5,000千円)は白馬村観光局が負担 ④白馬村観光局	-	-	-	-	-	-	-	Ⅲ-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援	⑯商品券・旅行券	R2.7	R3.3	5,000			5,000	-	-				R2補正(地)
28	○	単		新しい生活様式に対応した泊食分離促進支援事業		①飲食の配達に要する費用を支援し、宿泊施設及び飲食店の負担を軽減することで、飲食のテリトリーの普及による新しい生活様式に対応した泊食形態として泊食分離を促進する ②注文システム構築費用、配達に要する費用 ③注文システム構築費用 300千円 配達費用 10千円×20日=200千円 ④飲食店、交通事業者	-	-	-	-	-	-	-	Ⅲ-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援	⑯新たな旅行	R2.6	R3.3	500			500	-	-				R2補正(地)
29	○	単	48	新型コロナウイルス感染症対策融資利子補給事業		①中小企業の資金繰りを支援 ②村利子補給補助金交付要綱に基づく利子補給補助金 ③県中小企業融資制度等に係る利子の全額(24回分) R2 1,500,000千円(融資見込額)×0.8%(貸付利率)=12,000千円 R3以降 2,250,000千円(対象元金)×0.8%(貸付利率)=18,000千円 ④対象資金の融資を受けた者	-	-	-	-	-	○	Ⅱ-2. 資金繰り対策	⑰いずれも該当しない	R2.4	R3.4以降	30,000			30,000	-	-		令和9年3月まで基金を取り崩して行うため。		R2補正(地)	
30	○	単		高齢者移動支援事業		①②外出機会の少ない高齢者に対し、タクシー利用券を配布し、外出の機会を確保するとともに、タクシー事業者の支援を行う ③タクシー利用券 500円×2,600枚=1,300,000円 印刷製本費 94,000円 通信運搬費 108,000円 ④75歳以上高齢者のみ世帯	-	-	-	-	-	-	Ⅱ-4. 生活に困っている世帯や個人への支援	⑰いずれも該当しない	R2.8	R3.3	1,502			1,502	-	-				R2補正(地)	
31	○	補	102	学校保健特別対策事業費補助金	文科	(学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業) ①学校再開に伴う感染症対策・学習保障 ②各学校での対策に係る消耗品や備品購入等の経費 ③必要額1,750,000円 内訳 白馬北小1,500,000円 白馬南小1,000,000円 白馬中学1,000,000円の事業費のうち、国からの補助金1,750,000円を除く村負担分 1,750,000円 ④村立小中学校	-	-	-	-	-	-	Ⅰ-1. マスク、消毒液等の確保	⑰いずれも該当しない	R2.6	R3.3	3,500	3,500	1,750	1,750	-	-				R2補正(国)	
32	○	単		新たな観光需要喚起支援事業		①平日のアクティビティ利用のインセンティブを強化することにより、休日集中から平日分散へ、混雑を避けた利用を促進すると同時に、Go Toトラベル事業との連携による平日の宿泊利用も促進する ②3,000円クーポンの発行費用 ③クーポン原資 3千円×7,000枚=21,000千円 ④白馬村観光局	-	-	-	-	-	-	-	Ⅲ-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援	⑯商品券・旅行券	R3.1	R3.3	21,000			21,000	-	-				R2補正(地)
33	○	単		感染症予防対策事業		①給食施設再開に伴う感染症対策 ②陽性者が発生した給食施設の消毒委託等の経費 ③必要額825,000円 1施設 約1,000㎡ 監督者1名 作業員5名 委託料750,000円+消費税75,000円=825,000円 ④村立給食センター	-	-	-	-	-	-	-	①-Ⅰ-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	⑰いずれも該当しない	R3.2	R3.2	825			825	-	-				R2補正(地)
34	○	単		介護施設PCR検査補助事業		①②介護施設職員がPCR検査を受ける際、経費の1/3を助成し負担軽減する ③検査費用 職員数160名×5,000円=800,000円 ④村内介護施設	-	-	-	-	-	-	-	①-Ⅰ-2. 検査体制の強化と感染の早期発見	⑰いずれも該当しない	R3.3	R3.3	800			800	-	-				R2補正(地)



事業ごと実施状況や実績効果についてまとめましたよ。○の中の数字が実績報告書と実施計画の事業ナンバーだよ。確認してみてね。

6款	観光商工費	2項	商工費	1目	商工振興費
----	-------	----	-----	----	-------

事業名	新型コロナウイルス感染対策事業	決算書の頁	P. 69
事業内容	1. 県・市町村連携新型コロナウイルス拡大協力企業等特別支援事業		
	2. 商工業者向け事業継続緊急支援事業		
	3. 新しい生活様式に対応促進支援事業		
	4. 感染症対策融資利子補給事業(基金積立含む)		
	5. 特別警報Ⅱ※発出市町村飲食業等支援交付金事業・感染予防対策取組支援金		
	6. 特別警報Ⅱ※発出市町村飲食業等支援交付金事業・拡大防止特別支援金		
※白馬村に特別警報Ⅱが発出された期間:2021/1/20~2/12			

実績  
・  
成果

1. 県・市町村連携新型コロナウイルス拡大協力企業等特別支援金／65,900,000 円  
**【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当: 65,900,000 円】** ①  
 ・長野県と市町村が連携して実施する時短営業や休業要請等に応じた事業者への協力金・支援金の給付(1事業者あたり300千円(負担割合は、県:200千円、市町村:100千円))  
 ・休業等協力要請期間:2020/4/24～5/6、**対象事業者数:659件**(ホテル・旅館:325、簡易宿所・山小屋:193、飲食店・居酒屋・バー・スナック等:108、体験施設:17、その他:16)
2. 商工業者向け事業継続緊急支援交付金事業費／47,445,098 円  
**【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当: 47,444,000 円】**  
 ・厳しい経営環境を強いられる村内商工業者を緊急的に支援するため、交付要綱に基づき商工会を經由し1事業者あたり5万円を支給  
 (1)第1次分(商工会会員)  
 ・支給実績:564会員分・28,200,000円(事務経費:633,938円) うち28,833,000円充当 ②  
 (2)第2次分(第1次分対象者以外の事業者を対象)  
 ・支給実績:342事業者・17,100,000円(事務経費:551,160円) うち17,651,000円充当 ⑦  
 (3)一般乗用旅客自動車運送業の事業継続緊急支援交付金:960,000円 ④-1  
 ・均等割:1タクシー事業者あたり100千円×3事業者(白馬観光タクシー(株)、アルピコタクシー(株)、アルプス第一交通(株))、車両台数割:1台あたり30千円×22台分
3. 新たな事業分野へ進出する交通事業者への支援金／500,000 円  
**【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当: 500,000 円】** ⑧  
 ・交付要綱に基づく新たな事業分野への展開に該当する一般貸切旅客自動車運送業への交付金(南白馬交通×1事業者)  
 ・宿泊施設と飲食店の感染リスク軽減と、デリバリーの普及による泊食分離形態を構築するための一括受発注管理システムの構築
4. 感染症対策融資利子補給事業費／30,000,000 円  
**【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当: 30,000,000 円】** ⑨  
 (1)感染症対応融資利子補給補助金  
 ・県制度資金及びマル経資金融資の24回分の利子全額を補助  
 ・確定額:6,079,625円(60件分)  
 (2)基金条例に基づく基金積立金  
 ・次年度以降の利子補給積立額:23,920,375円
5. 感染予防対策取組支援金／14,280,000 円  
**【特別警報Ⅱ発出市町村飲食業等支援交付金充当: 10,200,000 円】**  
 ・感染予防に取り組む村内事業者へ一律2万円を支給(※関連する交付金の支給を受けた事業者を除く)、交付決定対象施設数:714、支給総額:14,280,000円
6. 感染拡大防止特別支援金／19,960,000 円  
**【特別警報Ⅱ発出市町村飲食業等支援交付金充当: 19,400,000 円】**  
 ・長野県の休業・時短要請の指定区域外で、自主的に休業又は時短営業した飲食業等事業者へ支援金を支給(対象期間:2021/1/29～2/11)  
 ・1店舗につき4万円×対象日数(最大56万円)  
 ・交付決定対象施設数:36、支給総額:19,960,000円

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
178,087,000	178,085,098	173,444,000			4,641,098

3款	民生費	2項	児童福祉費	1目	児童福祉総務費
----	-----	----	-------	----	---------

事業名	子育て世帯への臨時給付金事業	決算書の頁	P. 48
-----	----------------	-------	-------

事業内容	1. 子育て世帯臨時特別給付金事業(全額国庫補助事業) 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活を支援する取り組みの一つとして、児童手当を受給する世帯に対し、臨時特別給付金を支給する
	2. 子育て支援金給付事業(白馬村単独事業)(全額地方創生臨時交付金事業) 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活を支援する白馬村独自の取り組みとして、0歳から大学生等がいる世帯に対し、給付金を支給する。また、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して事業を実施
	3. ひとり親世帯特別臨時給付金事務事業(全額国庫補助事業) 新型コロナウイルス感染症の影響により、子育てと仕事を一人で担う低所得のひとり親世帯に特に大きな困難が心身に生じていることを踏まえ、ひとり親世帯に臨時特別給付金を支給する

実績・成果	1. 子育て世帯臨時特別給付金事業 (1) 支給金額 … 10,000 円(児童1名) (2) 事業費															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報酬・職員手当</td> <td>89,996 円</td> <td>会計年度任用職員報酬</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>914,079 円</td> <td>消耗品・印刷製本費・通信運搬費・電算委託</td> </tr> <tr> <td>臨時特別給付金</td> <td>9,950,000 円</td> <td>995 名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>10,954,075 円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	金額	内容	報酬・職員手当	89,996 円	会計年度任用職員報酬	事務費	914,079 円	消耗品・印刷製本費・通信運搬費・電算委託	臨時特別給付金	9,950,000 円	995 名	合計	10,954,075 円	
	区分	金額	内容													
	報酬・職員手当	89,996 円	会計年度任用職員報酬													
	事務費	914,079 円	消耗品・印刷製本費・通信運搬費・電算委託													
	臨時特別給付金	9,950,000 円	995 名													
	合計	10,954,075 円														
	※令和3年度で国庫補助金 614,000 円返還															
	2. 子育て支援金給付事業(白馬村単独事業) (1) 支給金額 … 10,000 円/人(ひとり親世帯は、20,000 円加算) (2) 支給対象者 … 令和2年5月1日に住民登録がある、対象児童がいる世帯の父母等 (3) 支給対象児童 … 0歳から大学生等(24歳までの学生)															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>役務費</td> <td>24,000 円</td> <td>通信運搬費</td> </tr> <tr> <td>子育て支援金</td> <td>16,340,000 円</td> <td>大学生・児童等 1,428 名 ひとり親 103 名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>16,364,000 円</td> <td>③</td> </tr> </tbody> </table>	区分	金額	内容	役務費	24,000 円	通信運搬費	子育て支援金	16,340,000 円	大学生・児童等 1,428 名 ひとり親 103 名	合計	16,364,000 円	③			
区分	金額	内容														
役務費	24,000 円	通信運搬費														
子育て支援金	16,340,000 円	大学生・児童等 1,428 名 ひとり親 103 名														
合計	16,364,000 円	③														
3. ひとり親世帯特別臨時給付金 (1) 支給金額 … 50,000 円/世帯(第2子以降1人につき30,000円) (2) 支給対象者 … 令和2年6月分の児童扶養手当受給者・公的年金等受給しており、児扶の手当てが全額停止されている方・収入が激減している方 (3) 事業費 … 276,730 円(職員手当・消耗品・通信運搬費) (4) その他 … 給付金の支払いは、長野県が実施し、申請受付等の事務のみを行った																

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地方債	その他 ( )	一般財源
27,960,000	27,594,805	28,208,000			△613,195

9款	教育費	2・3項	小学校費・中学校費	2目	教育振興費
----	-----	------	-----------	----	-------

事業名	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業	決算書の頁	P. 79 - 83
-----	---------------------------	-------	------------

事業内容

各学校の教育振興事業では、新型コロナウイルス感染症による学校休業などでも学びを止めないためにオンライン授業などができるように、新型コロナウイルス感染症対応地方創生交付金を活用し、必要なパソコンソフトや学習機材の整備や、教師をサポートするGIGAスクールサポーターの配置をした。

実績・成果



**【教育振興事業】**

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業(充当額:2,923,000円)を活用して、公立学校臨時休業に伴うオンライン学習推進事業として、以下の整備を行った。

**【総事業費】** 2,923,520円

**【主な整備内容】**

中学校ではタブレットを持ち帰り学習ができるように設定を変更してオンライン授業を行っている。また、小学校では家庭のパソコンから利用できるパソコンソフトやデジタル学習用の機材を整備した。

南小学校教育振興事業	パソコンソフト使用料	264,000円	⑥-1	
北小学校教育振興事業	パソコンソフト使用料	264,000円	⑥-2	
	簡易実物投影機6台購入(教具備品購入)	258,720円	⑥-3	
中学校教育振興事業	タブレット端末利用設定変更委託(PC保守委託料)	792,000円	④	
	パソコンソフト使用料	242,000円	⑤-1	
	インターネット接続料(通信運搬費)	75,000円	⑤-2	
	デジタル教科書使用権取得料(情報教育環境整備リース料)	283,800円	⑥-4	

オンライン授業等の学習をサポートするために、ICT支援のGIGAスクールサポーターを1名配備して、授業のサポートを行った。

中学校教育振興事業

GIGAスクールサポーター報酬(会計年度任用職員報酬) 744,000円 ⑩



学校のオンライン学習機能の強化を図ることができた。また、GIGAスクールサポーターを配置し、1人1台端末の積極的な利活用を促進した。春の臨時休業期間においても、交付金を活用し臨機応変にシステム変更等の作業が進められた。中学のオンライン授業は全国的にも先進事例として取り上げられている。

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 ( )	一 般 財 源
2,924,000	2,923,520	2,923,000			520

6款	観光商工費	2項	商工費	1目	商工振興費
----	-------	----	-----	----	-------

事業名	地域支えあいプラスワン消費促進事業	決算書の頁	P. 69
-----	-------------------	-------	-------

事業内容	<p>1. 白馬村・小谷村地域支えあいプレミアム付商品券事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・域内事業者ができるだけ早く元気を取り戻せるよう、地域一丸となって消費を喚起・下支えすることを目的に、額面1万円の商品券を5千円で販売(プレミアム率100%)</li> <li>・白馬村の一次販売は、子育て世帯は5冊まで、その他世帯は3冊まで(未購入残余分は、希望者の申し込みによる二次販売を実施)</li> <li>・本事業は、白馬村と小谷村の広域事業として実施、そのため、白馬村と小谷村の間で事務事業の実施、経費の負担割合、経費の精算等に関する協定を締結</li> </ul>
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

実績・成果	<p>1. 白馬村・小谷村共通商品券事業費/98,323,193円</p> <p>【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当:22,867,000円】⑧</p> <p>【地域支えあいプラスワン消費促進事業補助金充当:44,906,000円】</p> <p>(1)販売実績等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最終販売冊数:13,504冊(購入率:99.77%)(子育て:3,216冊、その他:7,594冊、二次販売:2,694冊)</li> <li>・参加登録事業者数:412(白馬村:324、小谷村:88)</li> </ul> <p>(2)事業実績等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2村における消費需要喚起額(=換金額):176,406千円(換金率:99.29%)、域内への生産誘発額:55,160千円(推計)</li> <li>・大型店舗(大規模小売店舗)換金割合:37.2%/換金合計額</li> </ul> <p>(3)事業経費内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象事業補助金(プレミアム分+事務経費分):97,627,496円(補助事業者:白馬商工会)</li> <li>・その他直接経費:695,697円</li> </ul>
-------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 ( 分 担 金 )	一 般 財 源
98,338,000	98,323,193	67,773,000		30,371,914	178,279



9款	教育費	1項	教育総務費	2目	事務局費
----	-----	----	-------	----	------

事業名	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業	決算書の頁	P. 78
-----	---------------------------	-------	-------

事業内容

学校環境整備事業では、国の進める GIGA スクール構想が、新型コロナウイルス感染症流行の影響で、事業が前倒しになり整備が急速に進むことになった。白馬村では学校施設環境改善補助金や新型コロナウイルス感染症対応地方創生交付金を活用し、村内学校でのタブレット型端末1人1台体制の構築や小学校内の通信環境等を整備した。

実績・成果

**【学校環境整備事業】**

学校環境整備事業の中で、令和2年度は小学生のタブレット型端末1人1台導入を主とした整備を行った。中学生は既に端末を1人1台導入済みであるので、まだ導入されていない小学生分の端末を1人1台購入し、併せて学校内の通信ネットワーク環境の整備等を行った。

財源は、学校施設環境改善国庫補助金 22,623,000 円と、**新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金** 22,537,000 円を活用した。

**【総事業費】** 45,161,278 円



**【主な整備内容】**

①白馬南・北小学校 情報端末購入業務(備品購入費) 25,623,400 円  
 児童用タブレット 425 台、教師用タブレット 50 台を購入。うち 12,621,000 円充当 ⑮

②白馬南・北小学校 情報通信ネットワーク環境整備工事(工事請負費等) 19,344,000 円  
 端末1人1台を見据えて校内のLAN工事を行った。ケーブルCAT6 A配線、アクセスポイントを40か所以上設置。  
 うち 9,475,000 円充当 ⑬、うち 300,000 円充当 ⑭



③オンライン学習のための情報機器を購入(消耗品・備品購入費) 193,878 円  
 オンライン学習に使う教師用ヘッドセット等30台 うち 53,000 円充当 ⑩、  
 簡易実物投影机 2 台 購入 うち 88,000 円充当 ⑫



端末を1人1台導入し、遠隔学習のための情報機器等を購入したことにより、小学校でも非常時の際にはオンライン学習が可能となった。また、校内の通信環境を整備したことにより、インターネットや動画を活用した授業がスムーズに行えるようになった。

予算額 (円)	決算額 (円)	財源内訳 (円)			
		国県支出金	地方債	その他 ( )	一般財源
45,162,000	45,161,278	45,160,000			1,278

8款	消防費	1項	消防費	4目	防災費
----	-----	----	-----	----	-----

事業名	防災事業	決算書の頁	P. 76-77
-----	------	-------	----------

事業内容	1. 災害用機器(防災行政無線、衛星携帯電話、震度計ネットワーク等)の整備及び維持管理 2. 非常用備蓄の購入 3. 防災に関する啓発活動 4. 自主防災組織に対する活動補助
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------

実績・成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>金額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 債務負担行為新防災情報配信システム整備工事 (全体契約額 278,300,000 円のうち 令和元年分 106,440,000 円)</td> <td>171,860,000</td> </tr> <tr> <td>2. 防災倉庫1棟設置工事 (避難所における新型コロナウイルス感染3密対策のための 物品収納用) <b>新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 2,629,000 円充当 ⑩</b></td> <td>2,629,000</td> </tr> <tr> <td>3. 自主防災組織防災資機材購入補助 災害用テント購入(蕨平区)</td> <td>72,000</td> </tr> <tr> <td>4. 非常用備蓄購入 五目ごはん 1,000 食</td> <td>324,000</td> </tr> <tr> <td>5. 光熱水費 防災無線屋外子局 光熱費</td> <td>159,524</td> </tr> <tr> <td>6. 通信運搬費 地震計通信費等災害用機器通信費</td> <td>571,927</td> </tr> <tr> <td>7. 使用料及び賃借料 中継局敷地借上料 非常用電源設備リース料</td> <td>251,760</td> </tr> <tr> <td>8. その他</td> <td>319,143</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>176,187,354</td> </tr> </tbody> </table>	科目	金額(円)	1. 債務負担行為新防災情報配信システム整備工事 (全体契約額 278,300,000 円のうち 令和元年分 106,440,000 円)	171,860,000	2. 防災倉庫1棟設置工事 (避難所における新型コロナウイルス感染3密対策のための 物品収納用) <b>新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 2,629,000 円充当 ⑩</b>	2,629,000	3. 自主防災組織防災資機材購入補助 災害用テント購入(蕨平区)	72,000	4. 非常用備蓄購入 五目ごはん 1,000 食	324,000	5. 光熱水費 防災無線屋外子局 光熱費	159,524	6. 通信運搬費 地震計通信費等災害用機器通信費	571,927	7. 使用料及び賃借料 中継局敷地借上料 非常用電源設備リース料	251,760	8. その他	319,143	合計	176,187,354
	科目	金額(円)																			
	1. 債務負担行為新防災情報配信システム整備工事 (全体契約額 278,300,000 円のうち 令和元年分 106,440,000 円)	171,860,000																			
	2. 防災倉庫1棟設置工事 (避難所における新型コロナウイルス感染3密対策のための 物品収納用) <b>新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 2,629,000 円充当 ⑩</b>	2,629,000																			
	3. 自主防災組織防災資機材購入補助 災害用テント購入(蕨平区)	72,000																			
	4. 非常用備蓄購入 五目ごはん 1,000 食	324,000																			
	5. 光熱水費 防災無線屋外子局 光熱費	159,524																			
	6. 通信運搬費 地震計通信費等災害用機器通信費	571,927																			
	7. 使用料及び賃借料 中継局敷地借上料 非常用電源設備リース料	251,760																			
	8. その他	319,143																			
合計	176,187,354																				

予算額 (円)	決算額 (円)	財源内訳 (円)			
		国県支出金	地方債	その他( )	一般財源
176,531,000	176,187,354	2,677,250	136,300,000	0	37,210,104

8款	消防費	1項	消防費	2目	広域常備消防費
----	-----	----	-----	----	---------

事業名	常備消防事業	決算書の頁	P. 75-76
-----	--------	-------	----------

事業内容	1. 北アルプス広域連合への負担金
	2. 長野県消防防災ヘリコプター運行協議会への負担金 県内消防本部より派遣された消防吏員(8人)の人件費等

実績・成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>金額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北アルプス広域連合負担金</td> <td>146,655,000</td> </tr> <tr> <td>長野県消防防災ヘリコプター運行協議会市町村負担金</td> <td>303,200</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>146,958,200</td> </tr> </tbody> </table>	科目	金額(円)	北アルプス広域連合負担金	146,655,000	長野県消防防災ヘリコプター運行協議会市町村負担金	303,200	合計	146,958,200										
	科目	金額(円)																	
	北アルプス広域連合負担金	146,655,000																	
	長野県消防防災ヘリコプター運行協議会市町村負担金	303,200																	
	合計	146,958,200																	
	<p>※ 北アルプス広域連合負担金の新型コロナウイルス感染防止衣 500 着、マスク 80 箱、消毒用アルコール 2000、ペーパータオル 17 箱、救急ディスポグローブ 70 箱購入費用に対して新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 241,000 円 ⑰ を充当</p>																		
	<p>1. 白馬村における災害時の連携 2. 白馬村における訓練実施時の連携</p>																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実施訓練</th> <th>実施時期</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 白馬村消防団出初式</td> <td>4月</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>(2) 白馬村消防ポンプ操法大会</td> <td>6月</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>(3) 大北地区消防ポンプ操法大会に向けた指導会</td> <td>6月</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>(4) 少年少女消防フェスティバル</td> <td>8月</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>(5) 秋季火災予防運動消防総合訓練</td> <td>10月</td> <td>中止</td> </tr> </tbody> </table>	実施訓練	実施時期	備考	(1) 白馬村消防団出初式	4月	中止	(2) 白馬村消防ポンプ操法大会	6月	中止	(3) 大北地区消防ポンプ操法大会に向けた指導会	6月	中止	(4) 少年少女消防フェスティバル	8月	中止	(5) 秋季火災予防運動消防総合訓練	10月	中止
	実施訓練	実施時期	備考																
	(1) 白馬村消防団出初式	4月	中止																
(2) 白馬村消防ポンプ操法大会	6月	中止																	
(3) 大北地区消防ポンプ操法大会に向けた指導会	6月	中止																	
(4) 少年少女消防フェスティバル	8月	中止																	
(5) 秋季火災予防運動消防総合訓練	10月	中止																	
<p>白馬村における出動件数【令和2年度】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>出動</th> <th>分類</th> <th>件数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">北アルプス広域消防本部</td> <td>火災</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>救急</td> <td>616</td> <td>搬送人員 601名</td> </tr> </tbody> </table>	出動	分類	件数	備考	北アルプス広域消防本部	火災	2		救急	616	搬送人員 601名								
出動	分類	件数	備考																
北アルプス広域消防本部	火災	2																	
	救急	616	搬送人員 601名																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>出動</th> <th>分類</th> <th>件数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長野県消防防災航空隊</td> <td>救急</td> <td>1</td> <td>長野県内 全 17 件</td> </tr> </tbody> </table>	出動	分類	件数	備考	長野県消防防災航空隊	救急	1	長野県内 全 17 件											
出動	分類	件数	備考																
長野県消防防災航空隊	救急	1	長野県内 全 17 件																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算額(円)</th> <th>決算額(円)</th> <th colspan="4">財源内訳(円)</th> </tr> <tr> <th></th> <th></th> <th>国県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他( )</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>146,978,000</td> <td>146,958,200</td> <td>241,000</td> <td></td> <td></td> <td>146,717,200</td> </tr> </tbody> </table>	予算額(円)	決算額(円)	財源内訳(円)						国県支出金	地方債	その他( )	一般財源	146,978,000	146,958,200	241,000			146,717,200	
予算額(円)	決算額(円)	財源内訳(円)																	
		国県支出金	地方債	その他( )	一般財源														
146,978,000	146,958,200	241,000			146,717,200														

2款	総務費	1項	総務管理費	6目	企画費
----	-----	----	-------	----	-----

事業名	企画一般事業	決算書の頁	P.30-32
-----	--------	-------	---------

事業内容	企画一般事業 1. 各種施策の企画・調整 2. 実施計画ローリング 3. 地区役員懇談会の開催 4. 各省庁団体等への助成金要望申請事務 5. 公拡法届出受付 6. 総務課管理の村有施設等の管理
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

実績・成果	1. 各種施策の企画・調整 ・第5次総合計画後期計画策定 【673,200円】 ・総合計画・総合戦略評価委員会 2回開催 ・地域公共交通会議の開催 ・テレワークシステム等の構築(PC26台) 【3,824,590円】⑱ 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(充当額:3,824,000円)を使用しテレワーク環境を整備した。 ・作業効率化業務委託料(RPA) 【3,751,000円】※交付税措置あり(補助金から変更) 2. 実施計画ローリングの実施 3. 地区役員懇談会の開催 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から希望地区のみ開催(4地区) 4. 元気づくり支援金要望申請 地域発元気づくり支援金(長野県)の申請受付 計画書提出件数: 19件 採択件数:15件(うち村1件) 5. 公拡法に基づく届出 4件 6. 総務課管理の村有施設等の管理 ・白馬ノルウェービレッジ敷地の借上料 【1,330,000円】 ・いこいの杜借上料(支出) 【6,900,000円】 (いこいの杜 5,500,000円 南村 1,400,000円) グリーンスポーツの森 利用者数 13,526名 白馬村社協デイサービスセンター岳の湯 利用者数 3,698名 7. 北アルプス広域連合への経常経費負担 【14,862,000円】 8. その他 【461,920円】
-------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

予算額 (円)	決算額 (円)	財源内訳(円)			
		国県支出金 (臨時交付金等)	地方債	その他 (土地等賃付料)	一般財源
32,145,000	31,802,710	3,901,000		1,473,832	26,427,878

2款	総務費	1項	総務管理費	6目	企画費
----	-----	----	-------	----	-----

事業名	白馬高校支援事業	決算書の頁	P. 32
-----	----------	-------	-------

事業内容

白馬山麓事務組合負担金(白馬高校支援事業への負担金)  
 白馬村、小谷村で連携し白馬高校魅力化づくりに取り組んでおり、実際の事務は一部事務組合である白馬山麓事務組合で行っており、白馬村と小谷村で経費を案分して支出しています。負担金の対象となる、白馬山麓事務組合での事業内容は以下のとおりです。  
 1. 全国募集活動とキャリア教育に対する支援  
 2. 公営塾「しろま學舎」の運営  
 3. 学生寮「しろま Pal House」の運営  
 4. 県立白馬高校学生寮新型コロナウイルス感染防止対策

実績・成果

【実績】

対前年比較表

区分 \ 年度	令和元年度	令和2年度	比較(増減等)
高校支援事業費	127,178,000 円	107,288,000 円	△19,890,000 円
入寮生数	24 名	35 名	11 名
公営塾生数	57 名	27 名	△30 名

1. 全国募集活動とキャリア教育に対する支援

- ①グローバル講演会(新型コロナウイルス感染症により高校生のみ)  
 ・10月22日に(株)岩岳リゾート 代表取締役社長 和田 寛氏を講師に迎えて開催しました。
- ②全国募集に伴うパンフレット、チラシ等の作成
- ③全国募集説明会は、新型コロナウイルス感染症により、リモートによる個別説明に切り替えて実施しました。
- ④大都市向けの新聞・雑誌等への広告を掲載しました。【352,000 円】

国際観光科に入学した県外生は平成 30 年度 12 名、令和元年度 20 名でした。また、全校生徒数は、全国募集を始めた平成 27 年度から 29 年にかけて前年増加してきましたが、平成 30 年度からは減少が続いています。(H30:210 名、R 元:206 名、R2:181 名)

2. 公営塾「しろま學舎」の運営【13,739,873 円】

- ①地域おこし協力隊制度を活用して講師 3 名により運営
- ②しろま學舎塾生の状況

年度	塾生(名)	主な合格大学・進学先
令和 2 年度	27	鳥取大学 1 名、京都外国語大学 2 名
令和元年度	57	京都外国語大学 1 名、新潟医療福祉大学 1 名
平成 30 年度	48	信州大学 1 名、長野県立大学 1 名

卒業生の今後の進路やその先の就職状況により、白馬高校国際観光科の教育方針や特色などが確立されるものと考えています。なお、令和元年度まで行っていた信州大学との連携事業は新型コロナにより中止となりました。

3. 学生寮「しろま Pal House」の運営【90,911,286 円】

- ①地域おこし協力隊制度を活用してハウスマスター 2 名を中心に運営

年度	入寮生の推移	施設
令和 2 年度	県外 26 名、県内 9 名、合計 35 名	男子寮・グレイス寮・女子寮
令和元年度	県外 21 名、県内 3 名、合計 24 名	男子寮・グレイス寮・大下寮・女子寮
平成 30 年度	県外 14 名、県内 12 名、合計 26 名	男子寮(増設)・女子寮
平成 29 年度	県外 16 名、県内 6 名、合計 22 名	男子寮・女子寮

令和元年度までは男子寮3施設、女子寮1施設の運営を行っていましたが、男子寮生の減少により、1寮を下宿へ移行し、残りの男子寮2施設、女子寮1施設での運営となりました。尚、給食については、前年同様に専門の業者に委託しました

実績・成果	<p>4. 新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言により入寮日が5月24日となり、県内生・関西の県外生・関東の県外生・その他地域の県外生ごとに施設を分け、2週間の健康観察期間を設けたのち全員が入寮しました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策に要した経費は次のとおりです。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 ⑱</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 新型コロナウイルス感染症用マスク・消毒液等消耗品費</td> <td>2,480,998 円</td> </tr> <tr> <td>2. 入寮に係る健康観察期間個室対応用給食費</td> <td>121,590 円</td> </tr> <tr> <td>3. 入寮に係る健康観察期間個室対応使用料</td> <td>2,248,040 円</td> </tr> <tr> <td>4. 新型コロナウイルス感染症用自動体温計購入費</td> <td>361,900 円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td>5,212,528 円</td> </tr> </table> <p>※上記の対策に新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用しました。</p> <p><b>【成果】</b></p> <p>「白馬高等学校の経営及び運営に参加する地域案」をもとに事業を展開してきました。これまで、白馬高校の取り組みは報道等に取り上げられる機会が多く、29年度までは入学者も増えてきましたが、全国募集をする高校が全国的に増えたことや、大都市圏では地元志向が強くなってきている影響もあり、県外からの入学する生徒は30年度から減少傾向です。</p> <p>6年目を迎えた公営塾については、個別指導なども成果を見せ始め国立大学・県立大学及び私立大学など志望校への合格者を出すことができます。</p> <p>寮運営は、生徒数減少により民間寮を1施設廃止し、男子寮2施設、女子寮1施設での運営を行いました。新型コロナウイルス感染症対策をとるためには全員個室が望ましいのですが、現施設では対応出来ないことから、民間の宿をお借りしながら2週間の健康観察期間を設け、朝晩の体温測定など健康観察を行ったのち全員が入寮しました。寮内での感染予防対策は、マスク・消毒液の購入、分離用カーテンの設置、感染予防用フェイスガード・ゴミ手袋購入、食堂のアクリルスタンド設置、玄関に自動体温測定器と消毒液スタンドの設置などを行っています。これらの対策を施した上で、共有スペースでのマスクの着用、ソーシャルディスタンス、手指消毒など考えられる対策を行ったことにより、一人も感染者を出すことなく寮の運営が行うことができました。</p> <p><b>【財源内訳】</b></p> <p><b>新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 4,351,000 円</b></p> <p>ふるさと白馬村を応援する基金繰入金 65,629,000 円</p> <p>※下記決算額は6目企画費 19節 負担金、補助及び交付金の内数です。</p>					1. 新型コロナウイルス感染症用マスク・消毒液等消耗品費	2,480,998 円	2. 入寮に係る健康観察期間個室対応用給食費	121,590 円	3. 入寮に係る健康観察期間個室対応使用料	2,248,040 円	4. 新型コロナウイルス感染症用自動体温計購入費	361,900 円	合計	5,212,528 円
	1. 新型コロナウイルス感染症用マスク・消毒液等消耗品費	2,480,998 円													
2. 入寮に係る健康観察期間個室対応用給食費	121,590 円														
3. 入寮に係る健康観察期間個室対応使用料	2,248,040 円														
4. 新型コロナウイルス感染症用自動体温計購入費	361,900 円														
合計	5,212,528 円														
予 算 額 (円)	決 算 額 (円)	財 源 内 訳 (円)													
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他 (ふるさと基金)	一 般 財 源										
107,288,000	107,288,000	4,351,000		65,629,000	37,308,000										



4 款	衛生費	1 項	保健予防費	4 目	保健予防費
-----	-----	-----	-------	-----	-------

事業名	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	決算書の頁	P 5 4
-----	-------------------------	-------	-------

事業内容	1. インフルエンザワクチン予防接種補助事業 インフルエンザ予防接種率を高め、罹患者・重症者を減らし、感染リスクの高い検体採取を行う機会を減らすことでコロナ感染者に備え医療機関の負担を軽減する。インフルエンザ予防接種の助成対象となっていない者に対し、1 回あたり 1,000 円の接種費用補助を行う。
	2. 感染症予防対策事業① 役場及び公共機関の感染症予防対策を実施するための衛生材料等の購入費用
	3. 感染症予防対策事業② 災害時の感染症発生を想定し、感染症の疑いのある住民と接触する役場職員の予防対策機能付ウェアを購入した

実績・成果	1. インフルエンザワクチン予防接種補助事業 インフルエンザ予防接種の補助 1,678 名
	2. 感染症予防対策事業① 役場関係庁舎の環境整備、村主催の事業のための貸し出し等に必要な衛生材料・備品 (CO2 測定器 1 台、新型コロナウイルス感染症対策用ガウン 20 着、感染症対策用エプロン 300 枚、感染症対策用パーテーション 10 個など) の購入。
	3. 感染症予防対策事業② 感染症対策機能付きウェア 10 セット購入 PCR 検査実施時、アルコールを提供する飲食店に対する訪問指導時に活用。

【事業費内訳】 単位 (円)

科 目	金 額
1. インフルエンザ予防接種費用補助	⑩ 1,678,000
2. 衛生材料・備品購入	⑪ 1,738,110
3. 感染症対策機能付きウェア購入	⑫ 638,000
計	4,054,110

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当額：4,054,000 円

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4,269,000	4,054,110	4,054,000			110

3款	民生費	1項	社会福祉費	5目	介護保険費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名	地域包括支援センター・地域支援事業	決算書の頁	P. 45-46
-----	-------------------	-------	----------

**事業内**  
 地域支援事業は、被保険者が要介護・要支援状態となる事を予防するとともに、要介護状態となった場合でも、可能な限り地域で自立した日常生活を営むことが出来るよう支援する事を目的として、地域包括支援センターの運営、介護予防事業等を実施している。介護保険制度改正により、平成 29 年4月より、「介護予防・日常生活支援総合事業」が開始され、地域での介護予防や生きがいに通じる活動や、「支えあい・助け合い」活動の推進にむけ、事業を実施している。

事業名	事業内容・実績等	事業費(円)
1. 介護予防事業		
通所型サービス(神城醫院)	「まめった講座」トレーニング機械を使った運動等 37 回 延べ 173 人	1,120,000
一般介護予防事業(健學塾)	「体操」「歌声」など 4 講座 148 回 延べ 1,191 人 コロナで休止中、電話での安否確認実施	2,891,130
地域介護予防活動支援事業	介護予防自主グループ活動費の助成(地区健茶会、サロン等) 18 か所 317 回 2,376 人	434,717
※地域介護予防活動支援事業に新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 174,000 円 ㊸ を充当		
2. 包括的支援事業		
地域包括支援センターの運営 (社会福祉協議会負担金)	保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員の配置、総合相談 824 件(介護保険・医療等)、虐待・権利擁護に関する相談 5 件、地域ケア会議 6 回、ケアマネ連絡会 6 回、介護サービス事業所会議 12 回	15,045,967
認知症施策推進事業	認知症地域支援推進員の配置、認知症カフェ 8 回、認知症サポーター養成講座 5 回、白馬村見守りネットワーク事業(登録 73)	2,875,376
生活支援体制整備事業	生活支援コーディネーターの配置、白馬村生活支援・介護予防サービス協議体の開催 買い物サービスモデル事業 20 人登録	4,970,589
3. 任意事業		
介護用品支給事業	在宅で要介護4、5の者を介護する非課税世帯の方に、おむつ用品等の購入費用(上限 75,000 円)を助成 10 人	332,592
地域自立生活事業	「安心コール」独居高齢者に定期的に電話をし、孤立の解消、安否確認 4 人 259 回	104,225
4. その他	認知症初期集中支援チーム、在宅医療・介護連携支援センター連携自立圏事業負担金、保健師 1 名、事務職員人件費等	12,456,265
合計		40,230,861

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	その他(地域支援事業受託金等)	一 般 財 源
40,468,000	40,230,861			39,683,050	547,811

3款	民生費	1項	社会福祉費	2目	老人福祉費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名	乗合タクシー運行事業	決算書の頁	P. 41-43
-----	------------	-------	----------

事業内容	1. 乗合タクシー運行事業 移動手段を持たない高齢者等の買い物や通院に対する交通支援と社会参加を図るため、デマンド型乗合タクシーを運行する。 (1)運行方法 戸口から戸口までの乗合運行 (2)利用対象者 50歳以上、妊婦、母子家庭等、生活保護世帯、障害者手帳保持者、障害年金受給者、要介護又は要支援認定者、付添人 (3)利用料 300円/回
	2. 運転免許証自主返納支援事業 高齢者等の交通事故を防止するための対策として、運転免許証を自主返納した者を対象に、乗合タクシーの利用券33枚(11枚綴りの回数券×3冊)を交付する。
	3. 新型コロナウイルス感染症予防対策事業 乗合タクシー運行事業を委託している事業者に対し、運行に係る感染予防対策費用を1事業者につき5万円の補助を行う。(※新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金対象事業)

実績・成果	1. 乗合タクシー運行事業 /12,538,659円/												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運行日数</td> <td>295日</td> <td>243日</td> </tr> <tr> <td>延べ乗客数</td> <td>8,676名</td> <td>6,659名</td> </tr> <tr> <td>年度末登録者数</td> <td>761名</td> <td>744名</td> </tr> </tbody> </table>		令和元年度	令和2年度	運行日数	295日	243日	延べ乗客数	8,676名	6,659名	年度末登録者数	761名	744名
		令和元年度	令和2年度										
	運行日数	295日	243日										
	延べ乗客数	8,676名	6,659名										
年度末登録者数	761名	744名											
【運行経費内訳】													
<table border="1"> <tbody> <tr> <td>運行委託料</td> <td>10,393,295円</td> </tr> <tr> <td>車両燃料費</td> <td>1,281,391円</td> </tr> <tr> <td>予約センター委託料</td> <td>600,750円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>263,223円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>12,538,659円</td> </tr> </tbody> </table>	運行委託料	10,393,295円	車両燃料費	1,281,391円	予約センター委託料	600,750円	その他	263,223円	合計	12,538,659円			
運行委託料	10,393,295円												
車両燃料費	1,281,391円												
予約センター委託料	600,750円												
その他	263,223円												
合計	12,538,659円												
2. 運転免許証自主返納支援事業 利用券交付者数													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>18名</td> <td>24名</td> <td>23名</td> <td>36名</td> <td>23名</td> <td>124名</td> </tr> </tbody> </table>	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	合計	18名	24名	23名	36名	23名	124名	
平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	合計								
18名	24名	23名	36名	23名	124名								
3. 新型コロナウイルス感染症予防対策事業/150,000円/ ②4-1 運行車両に係る感染予防のためのマスクや飛沫防止シート等の購入費に対する補助を行ったことにより、3事業者の感染予防経費負担を軽減し、また感染の拡大を防止することができた。													

予算額 (円)	決算額 (円)	財源内訳 (円)			
		国県支出金	地方債	その他(デマンドタクシー使用料)	一般財源
12,841,000	12,688,659	150,000		1,497,600	11,041,059

6款	観光商工費	1項	観光費	2目	観光施設整備費
----	-------	----	-----	----	---------

事業名	山岳感染対策支援事業	決算書の頁	P. 64
-----	------------	-------	-------

事業内容	1. 山岳関係者向け感染症対策の推進及び事業継続支援 安全登山を支える公益的な機能を担っている山小屋事業者と山案内人組合に対して、山小屋等緊急支援金を交付し、その機能の維持と感染拡大防止対策を支援する。

実績・成果	1. 山岳感染対策支援交付金／2,500,000 円  【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当:2,500,000 円】 ㊟  ・新型コロナウイルス感染症の影響に伴う山小屋等緊急支援金交付要綱に基づく交付 (1)山小屋運営事業継続支援金:500,000 円×3事業者(株白馬館、株からまつ、白馬村振興公社) =1,500,000 円 (2)山案内人組合支援金:1組合・1,000,000 円(白馬山案内人組合)

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 ( )	一 般 財 源
2,500,000	2,500,000	2,500,000			

6款	観光商工費	1項	観光費	3目	観光宣伝振興費
----	-------	----	-----	----	---------

事業名	観光割引クーポン発行支援事業	決算書の頁	P. 65
事業内容	1. 宿泊事業者向け観光需要喚起事業 2. 観光事業者向け観光需要喚起事業 3. 新たな観光需要喚起支援事業		

実績・成果	<p>1. 宿泊クーポン発行事業負担金／35,000,000 円  <b>【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当:35,000,000 円】 ㉔</b></p> <p>(1)制度設計          ・国内旅行の取り組みを図るための宿泊クーポンの発行          ・3千円分の宿泊クーポン×11,500 泊分のクーポン原資と事務経費(実施者:白馬村観光局)</p> <p>(2)概要          ・参加する宿泊施設へクーポン原資額を事前に配分することで、経営方針の異なる施設それぞれが独自の戦略で誘客に取り組める企画として展開          ・参加宿泊施設:438 施設、クーポン原資配分額:30,390,000 円、精算額:24,064,275 円(執行率:79.2%)</p> <p>(3)実績・効果          ・延べ宿泊総数は約 8,000 泊、8,000 万円、宿泊に伴う経済波及効果の推計:2,400 万円</p>				
	<p>2. 観光アクティビティクーポン発行事業負担金／5,000,000 円  <b>【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当:5,000,000 円】 ㉕</b></p> <p>(1)制度設計          ・宿泊事業者を除く観光事業者(アクティビティ、土産、飲食、交通事業者等)施設の割引クーポンの発行          ・3千円分の割引クーポン×3,200 枚分のクーポン原資と事務経費(実施者:白馬村観光局)          ※総事業費を 1,000 万円とし、不足額は白馬村観光局独自財源を充当</p> <p>(2)概要          ・グリーンシーズンのブランディングと観光需要の喚起を図るため、3,000 円で 6,000 円分のアクティビティや土産店等で使えるクーポン券を発行。販売は、一般販売と宿販売の2つの方法で実施          ・参加施設:43 施設(索道、アクティビティ、土産店等)、販売数:3,311 枚(一般販売分:725、宿・村内旅行会社分:2,586)、販売クーポン換金精算額:19,384,500 円</p> <p>(3)実績・効果          ・宿泊への経済波及 4,000 万円、その他生産誘発効果 480 万円(いずれも推計)</p>				
	<p>3. 「泊まって滑ろう! リフト券 10,000 枚大盤振る舞いキャンペーン!」／21,000,000 円  <b>【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当:21,000,000 円】 ㉖</b></p> <p>(1)制度設計          ・冬の平日アクティビティ利用へのインセンティブを見込む(休日集中から平日分散型へ混雑の回避)          ・3千円分の割引クーポン×7,000 枚分のクーポン原資(実施者:白馬村観光局)</p> <p>(2)概要          ・スキーシーズンの観光需要喚起策として、当初計画では1～3月の平日の宿泊客獲得とスキー場の利用促進策として計画したが、村内での感染拡大により3～5月の春スキーの時期へ実施時期を変更した          ・応募者から抽選で1万人にリフト券を進呈。ただし、村内対象宿泊施設に宿泊することを条件</p> <p>(3)実績・効果          ・応募総数:11,175 名、当選者数:10,642 名、着券数(3月末):2,940 名、精算額(3月末時点):10,320,000 円          ・宿泊者数及びスキー場利用者数:2,940 名、経済波及効果:4,704 万円(推計)</p>				
	予 算 額 (円)	決 算 額 (円)	財 源 内 訳 (円)		
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他 ( )	一 般 財 源
61,000,000	61,000,000	61,000,000			



3款	民生費	1項	社会福祉費	2目	老人福祉費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名	高齢者移動支援事業	決算書の頁	P. 41-43
-----	-----------	-------	----------

事業内容	1. 高齢者移動支援事業 (※新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金対象事業)		
	中国武漢市で確認された新型コロナウイルスは世界各地に蔓延し、日本でも大勢の感染が報告されている。特に高齢者の感染は重症化しやすいため、外出を控える傾向が増え、引きこもりによる健康面の不安も増加している。		
	そんな中、外出手段を持たない高齢者にとっては乗合タクシーしか外出する手段がないが、相乗りによる感染の不安があり買物や通院を控える傾向にある。		
	このようなことから、この事業は外出機会の少ない高齢者に対してタクシー乗車券を配布して、外出の機会を確保するとともに、コロナ禍において観光事業の低迷による影響を受けているタクシー事業者に対する支援を行うことを目的とする。		
	利用対象者	75歳以上のみの高齢者世帯 (令和2年9月1日現在)	
乗車券交付枚数	1世帯につき500円分×40枚 (2万円相当)		
使用期間	令和2年9月16日から令和3年2月28日まで		
タクシー事業者	アルプス第一交通、アルピコタクシー、白馬観光タクシー		

実績・成果	1. 高齢者移動支援事業 / 2,203,370円 /		
	利用対象世帯数	456世帯	
	利用世帯数	169世帯	
	利用率	37.1%	
	平均利用枚数	24.4枚	
	※平均利用枚数…利用総枚数/利用世帯数		
	【経費内訳】		
	タクシー使用料	2,000,190円	
	印刷製本費	94,600円	
	通信運搬費	108,580円	
計	2,023,370円		
主に外出の手段を持たない高齢者が個人でタクシーを利用することにより、コロナウイルスの感染から身を守りながら買物や通院することができた。			
また、新型コロナウイルス感染症の影響により景気が低迷しているタクシー事業者への支援にも繋がった。			

予算額 (円)	決算額 (円)	財源内訳 (円)			
		国県支出金	地方債	その他 ( )	一般財源
2,205,000	2,203,370	③ 2,203,000			370

9款	教育費	2・3項	小学校費・中学校費	1目	学校管理費
----	-----	------	-----------	----	-------

事業名	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業	決算書の頁	P. 79 - 81
-----	---------------------------	-------	------------

**事業内容**

学校管理事業では、学校保健特別対策事業補助金を活用し、小中学校で感染症対策に必要な備品や消耗品を学校の判断でスピーディーに整備した。事業費から補助金を除いた残額には新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充てており、村からの持ち出しはほとんどなく必要なものを整備した。

**実績・成果**

**【学校管理事業】**  
 村内小中学校の維持管理を行う学校管理事業の中で、令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策を行うために国庫補助事業を活用した。これは、各学校で新型コロナウイルス感染症対策に必要な備品や消耗品の調達に対して国から補助金を受け整備したもの。財源は、学校保健特別対策事業国庫補助金 1,750,000 円と、事業費の残額に**新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 1,771,000 円** ③ を充当した。国庫補助金は、学級数等に応じて交付され、南小と中学はそれぞれ 50 万円、北小は 75 万円が交付されている。

**【総事業費】 3,521,009 円**  
 内訳 南小 1,010,986 円 北小 1,501,404 円 中学 1,008,619 円

**【主な整備内容】**  
 事業により整備したものの主なものは以下のとおり。

費目	感染症対策内容	整備したもの
備品類	密をさげ、空き教室で分散授業を行うため	電子黒板4台、椅子 60 脚
	積極的に換気を行うため	網戸(4か所)の設置
	健康状態の確認などのため	非接触体温計8台、診察台2台等
	乾燥した空間を避けるため	加湿器2台
消耗品類	手指消毒の励行	オートディスペンサー2台
	授業での飛沫感染防止のため	マスクやマウスシールド
	日常の手指消毒用品	石鹸、薬用アルコール
	清掃、消毒作業用品	ペーパータオル、次亜塩素水

各学校で必要な備品、消耗品をスムーズに調達することができ、学校における新型コロナウイルス感染症対策が充実した。



予算額 (円)	決算額 (円)	財源内訳(円)			
		国県支出金	地方債	その他 ( )	一般財源
3,522,000	3,521,009	3,521,000			9

9款	教育費	5項	保健体育費	3目	学校給食費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業	決算書の頁	P. 89
-----	---------------------------	-------	-------

**事業内容**

学校給食センター事業では、学校保健特別対策事業や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用しながら、感染症予防対策を実施した。  
 主な事業内容は、マスク等感染予防消耗品、アクリルパーティションや加湿器の整備、給食センター全体の消毒作業を行った。なお、このページの事業費は学校給食センターの内数を再掲した。

**実績・成果**

**【学校保健特別対策事業】**  
**感染症対策のためのマスク等購入事業 総事業費 326,357円**  
 国庫補助金 105,000円 補助率 1/2  
 全国的に不織布マスクが品薄状況となったため、学校休業期間中の給食センターで調理員がペーパータオルを使用したマスクを作り各学校に予備用として配布した。また、給食配膳、下膳時の感染症対策として、給食当番が使用する使い捨て手袋を整備し各校に配布した。なお、調理員は中学校の教室等の消毒作業にも従事した。

マスクの配布数 1,980枚  
 配布の内訳 南小 520枚 北小 740枚 中学 560枚  
 包括支援センター 80枚 社協 80枚

**【学校給食費返還等事業】**  
 学校休業に伴う給食の停止に際して生じた、給食費の返還や食材のキャンセルによる違約金、仕入れ食材の廃棄等に要した費用を補填する事業で、H31～R2までが対象で一括交付されている。決算は2年度に渡る補助金なので一般財源としている。  
 休業等に関して要した経費 263,011円  
 (H31 64,128円 R2 198,883円)  
 学校臨時休業対策費補助金 197,000円  
 一般財源 66,011円

**【新型コロナウイルス感染症対応地方創生交付金事業】**  
**総事業費 922,092円(交付金充当事業費 825,000円) ㊸**  
 給食センター事務室や控室における感染予防対策と施設の消毒を行った。  
 なお、給食センター1施設の消毒費用 825,000円に交付金を活用した。  
 アクリル板、加湿器、サーキュレーター等 97,092円  
 施設消毒委託料 825,000円

国庫補助金(学校保健特別対策事業費補助金、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)を活用することで、必要な個所に必要な時期に対策を施すことができた。



予算額 (円)	決算額 (円)	財源内訳(円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
1,512,000	1,447,332	930,000			517,332

3款	民生費	1項	社会福祉費	5目	介護保険費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名	新型コロナウイルス自主検査費用補助事業	決算書の頁	P. 45-46
-----	---------------------	-------	----------

事業内容	<p>新型コロナウイルス感染症に感染した場合、重症化リスクが高い高齢者の感染拡大を防止するため、高齢者施設における従業員(10施設 167人)を対象とした自主検査費用に要する経費を県の間接補助を受けて、村単独分には新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金828,000円(34)を充てて、全額補助する。</p> <p>補助率 県2/3(上限15,000円) 村1/3(村の補助は、昨年度末で終了)</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

実績・成果	No.	施設名	検査人数	検査費用	県補助額	村補助額
	1	デイサービスセンター 岳の湯	17人	252,450円	168,000円	84,450円
	2	白馬村社協ヘルパーステーション	8人	118,800円	79,000円	39,800円
	3	デイサービスセンター おらの家	10人	148,500円	99,000円	49,500円
	4	訪問看護ステーション はくば	4人	59,400円	39,000円	20,400円
	5	白馬メディア	80人	1,188,000円	792,000円	396,000円
	6	神城醫院	15人	222,750円	148,000円	74,750円
	7	かたくりの郷	10人	148,500円	99,000円	49,500円
	8	北アルプス訪問介護ステーション	7人	103,950円	69,000円	34,950円
	9	白馬メディア通所リハビリテーション	8人	118,800円	79,000円	39,800円
	10	健學塾	8人	118,800円	79,000円	39,800円
合計額			※167人	2,479,950円	1,651,000円	828,950円
※全員陰性						

予算額 (円)	決算額 (円)	財源内訳(円)			
		国県支出金	地方債	その他 (新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付)	一般財源
2,480,000	2,479,950	1,651,000		828,000	950



白馬村キャラクター  
ヴィクトワール・シュヴァルブラン・村男Ⅲ世

お読みいただきありがとうございました。